



報道関係者各位

平成 25 年 4 月 17 日

国立大学法人 筑波大学

第 54 回科学技術週間 筑波大学一般公開
筑波大学キッズ・ユニバーシティ開催

国立大学法人筑波大学【学長 永田恭介】(以下「筑波大学」という)では、第 54 回科学技術週間の一般公開イベントとして、昨年に引き続き、平成 25 年 4 月 20 日(土)に、「筑波大学キッズ・ユニバーシティ」を開催します。

本イベントは、「『一日筑波大生』になって、科学の面白さと大学の魅力を体感しよう!」をキャッチフレーズに、主に小中学生を対象とした特別講義・実験工作教室・体験ブースなどを実施するものです。特に、特別講義は、一般的な出前授業などとは異なり、階段教室を使って大学の講義さながらの雰囲気を経験することができる、筑波大学ならではのイベントです。

当日は、参加者に「学生証」を配布し、図書館や学生食堂も利用できます。また、学内各所で行われているさまざまなイベント会場を巡るスタンプラリーにより、広い構内を体感しながら大学生気分を味わえる機会も設けています。

背景・実績

筑波大学では従来より、科学技術週間への取り組みとして、学内各部門(研究センター・研究室・研究プロジェクトなど)がそれぞれ独立して、一般公開イベントを実施していましたが、昨年(平成 24 年)度より、大学本部(企画室・広報室・研究推進部)がこれらのイベントをとりまとめ、大学として積極的に関与する体制を整えました。さらにこの中で、本部企画として開催したのが「筑波大学キッズ・ユニバーシティ」の試みです。

平成 22 年度の科学技術週間一般公開(平成 23 年度は震災のため中止)の参加延べ人数が約 1000 人だったのに対し、キッズ・ユニバーシティを初めて開催した平成 24 年度の参加者は延べ 1681 人に増加し、満足度についても高い評価(アンケート調査の結果)を得ました。また事後インタビューから、関与した教職員や学生のアウトリーチ活動に対する意識が高まったこともわかりました。

問合せ先

筑波大学広報室